

学 園 報

No.25

富山国際大学 URL <http://www.tuins.ac.jp/>
富山短期大学 URL <http://www.toyama-c.ac.jp/>

富山国際大学付属高等学校
富山短期大学付属みどり野幼稚園

URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>
URL <http://www.fsnet.or.jp/~midorino/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市瀬海寺水口444

TEL/076-436-5139

FAX/076-436-5444

BIG CHANGE — 子どもは未来、子どもは希望 —

(1) 2009年秋、日本が60年ぶりの政権交代という Big Change に揺れ動く中、国民は今日を生き明日に向います。これが政治・民主主義のダイナミズムであるならば、我々富山国際学園のダイナミズム (Change) は何か? 総合学園のパワー発揮は、常に我々の宿題でした。それに対する答えの一つをようやくこの4月に出せたと思います (2a, b)。なお学園のCiCビル「サテライト・オフィス」も、運営会議を設置して活動を始めました。

(2) 富山国際大学は、(a) 抜本的改革の第1弾として昨年、2学部を統合して「現代社会学部」を開設し、続いて第2弾：子ども育成学部を創設。(b) とくに後者は、富山における人材育成に多年の実績と教育資源をもつ富山短期大学の「発展型」そのものであり、この両学部の、車の両輪としての切磋琢磨こそが、ダイナミックな「国際大学改革の切札」となるはず。タテワリの我が国で今まで区別されてきた「教育」と「福祉」の両分野を、初めて「子ども育成」の視点から統合し基本理念として提案するという、保守的な文科省がイヤがったのを説得し、極めて先駆的・野心的な「ハイブリッド・コンセプト」を創出しました (宮田伸朗学部長)。(c) 朗報あり。平成21年度大学改革推進等補助金の一環としての「学生支援推進プログラム」に、本学キャリア支援センターの「学生・大学・地域社会の協働による地域貢献型社会人基礎力の育成」が採択! フォローが大切。(d) オープンキャンパスは両学部それぞれのキャンパスで2度ずつ開催、参加者は計420名、入学者増を期待します。(e) 現代社会学部は「改革実現委員会」を設置。加えて北野孝一学部長はNPO法人「環・日本海」理事長も兼務し、「森のファンタジー」等、学外からも国際大は幅広く応援されている形です。

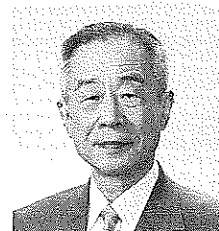
(3) 富山短期大学では、(a) 幼児教育学科が新設校舎へ移り、国際大・短大両学校名を刻んだ合同校舎・E館が、学園発展の象徴として呉羽キャンパスに高々と屹立しました。「にぎやか」になり過ぎた(?) 呉羽キャンパスの今後の円滑な運営に、ぜひ高校をはじめ全学園の皆さんの理解と協力をお願いします。第38回幼児教育研究会も新校舎で開催。(b) 食物栄養学科と専攻科は、我国の栄養士・管理栄養士の両資格混在という難しい状況の中、前途を開拓すべく奮闘しています。(c) 意気盛んな経営情報学科は、正課授業に加え、学生の就職を支援すべく外部講師による講座やインターンシップ等、キャリ

アデザイン支援等の新プログラムを実施。歴史ある商経学科を継承し、新しく10周年を迎え、「記念セミナー」を開催しました。(d) 福祉学科は第14回公開セミナーをはじめ、県内介護福祉士養成校協会「会長校」として、高まる社会的ニーズに反し全国的な志願者減という難問に臨むべく、頑張っています。(e) 様々な教育的課題に対応するには、活動的「事務組織力」は必須です。学生支援機能の充実、学生募集活動などの強化を抜本的に図るため、教務課・学生課・就職指導課を「学務課・入試広報課・就職支援センター」へと再編しました。

(4) 国際大学付属高校では、(a) 多年の懸案だった校舎改築の基本方針が決まりました。耐震化は喫緊の社会的課題であり、市内中心部への移転等を含め苦心の検討を重ねた結果、「現地で根を下しての発展」を理事会決定。直ちにI期工事基本設計に入りました。(b) 部活動は高校生活の重要な一部です。全国総合文化祭での新聞部(優秀賞)、放送部(準優勝)の活動、テニス部、弓道部のインターハイ出場は立派。(c) SELHi 最終年度の総まとめで、all English の授業が定着しました。本校のハイレベル教育の特色として活かしていきます。(5) みどり野幼稚園は、支援して下さる保護者会の活動のためのもので、地域との交流がますます盛んです。「父親の会」主催の遊び大会は今や定番。新しく、子育て支援のための「未就園児親子クラブ」も立ち上げました。

(6) 社会福祉法人富山国際学園福祉会「にながわ保育園」は地域に根ざす活動を続け、「夕涼み会」は実に700名が参加。「新・保育所保育指針」に沿うべく、自園・内外の研修の充実に努めています。

(7) 理事長の私は、学園を代表して社会に貢献すべく及ばすながら努力し、地元の県・私学振興会理事長等のほか、全国レベルでは「日本私立短期大学協会」と「全国大学実務教育協会」双方の監事を同時に務めています。他方、学者個人の延長としても、いまだに少なからぬ全国・県内の学術関係・助成財団の役員として微力を傾けてきました。学園・教職員の皆さん。「教育」という、本質に深く基づく人間活動にたずさわる「誇りとよろこび」をもって、共に前進しようではありませんか。



理事長
金岡 祐一

CONTENTS

□BIG CHANGE — 子どもは未来、子どもは希望 —	
理事長 金岡 祐一	1
□特集 富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」	
～学園と地域を結ぶ～「富山国際学園の新たな活動拠点」	
センター長 長尾 治明	2～4

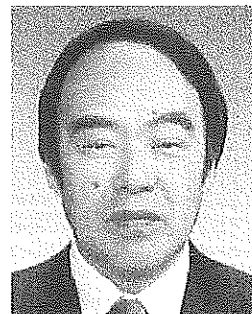
□平成21年度部門別学生・生徒・園児数等	5
□平成20年度卒業生進路状況	5
□平成20年度決算及び財務の状況	6～7
□学園NEWS	8

富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」

～学園と地域を結ぶ～

『富山国際学園の新たな活動拠点』

センター長 長尾 治明



開設にあたって

富山国際学園は、平成21年4月1日、富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」（以下、サテライト・オフィスという）をJR富山駅前CiCビル3階に開設しました。

サテライト・オフィスは、従来、富山国際学園並びに各機関（富山国際大学・富山短期大学・富山国際大学付属高等学校・富山短期大学付属みどり幼稚園）が担ってきた、地域社会発展への貢献という役割とその社会的評価を、更に特化して、新たな拠点として活動していくことが期待されています。

「21世紀は知識基盤社会の時代である。」と言われて久しいですが、その根幹を支える重要な社会的使命も、本学園としてはこれまで以上に担っていかなければいけません。

富山国際学園並びに各機関が有する、教育・研究活動等の「知の集積」を、地域社会の発展と貢献に寄与すべく、学園一体型の新たな拠点であるサテライト・オフィスに、多大なるご支援、更なるご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※知識基盤社会とは

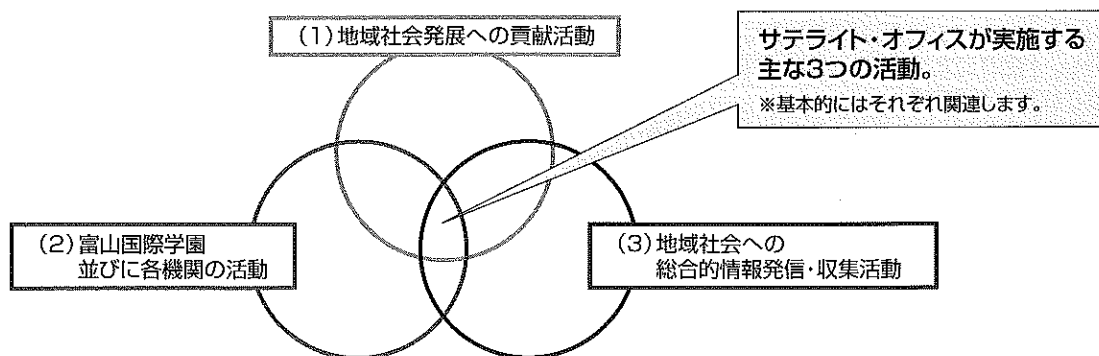
新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会をいう：H17中教審答申「我が国の高等教育の将来像」より

I サテライト・オフィスの運営

1. 基本方針

富山国際学園並びに各機関が有する教育・研究活動等の「知の集積」を、地域社会の発展に貢献するために、学園一体型の新たな拠点を設け、活動することを基本方針としています。

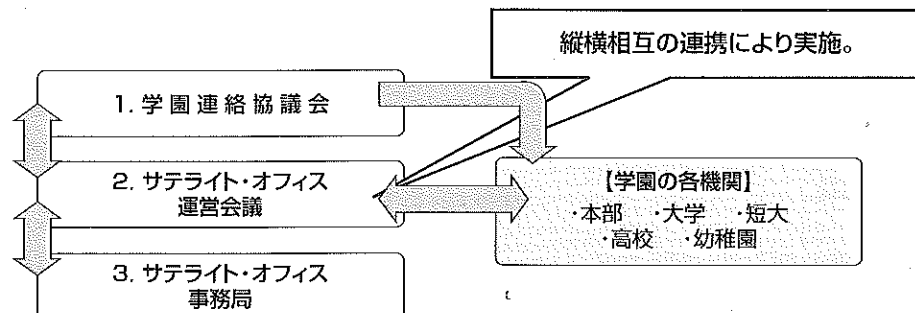
2. 主な活動内容



具体的には、次の3つの活動を主な柱と考えています。

- (1) 地域社会発展への貢献活動
例：公開講座、地域の諸機関との連携、一般市民との交流など
- (2) 富山国際学園並びに各機関の活動
例：正課、課外、PTA・後援会、同窓会、会議・研修会など
- (3) 地域社会への総合的情報発信・収集活動
例：刊行物掲示・配布、ホームページ公開、進学説明会開催、募集活動など

3. 運営体制



(1) 学園連絡協議会

サテライト・オフィス事業の計画・実施・管理運営等の承認。

(2) サテライト・オフィス運営会議

サテライト・オフィス事業の計画・実施・管理運営等にかかる事項の審議。
運営委員は、各機関より選出され、当該機関への報告及び調整等も担当。

(3) サテライト・オフィス事務局

富山国際大学 総務企画部 企画課

サテライト・オフィス事業の庶務全般を担当。

II 使用環境

1. 開館日時等

開館時間帯 10:00～18:45

休館日 毎週火曜日、2月の第3水曜日、
年末年始（12月29日～1月3日）、
その他、臨時に休館とする日

2. 施設の概要

総面積：173.4㎡



〔全面スペース〕



〔半面:分割スペース〕

3. 備品等

NO	備品等名	個数
1	机	25
2	椅子	50
3	案内板:大	2
4	案内板:小	1
5	電動スクリーン:25人未満用	1
6	ポータブルスクリーン:25人以上用	1
7	CDラジカセ	1
8	プロジェクタ	1
9	ノートパソコン:ネット使用可	1
10	ポータブル音響アンプ	2
11	ワイヤレスマイク	2
12	有線マイク	4
13	マイクスタンド	2
14	卓上マイクスタンド	2
15	ドラムリール	2
16	ビデオデッキ	1

※コピー機はありません。 ※無線LAN対応。持込PCにて使用可能。
※50人を超える使用については、予めサテライト・オフィスにご連絡ください。

※使用について

- ・使用希望者は「使用申出書」を使用当日の10日前までに、書面にて提出してください（「使用申出書」が必要な方は、サテライト・オフィス運営委員、富山国際大学総務企画部企画課、またはサテライト・オフィスにご連絡ください）。
- ・使用に係る業務全般（準備～撤収含む）については、使用者にて行ってください。
- ・「使用申出書」に記載されている＜使用条件＞を守ってください。

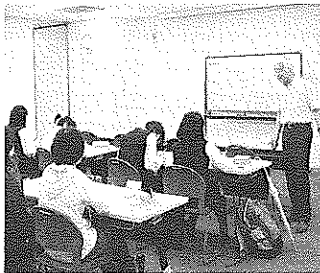
Ⅲ 使用状況

4月～9月に実施された主な行事は次のとおりです。

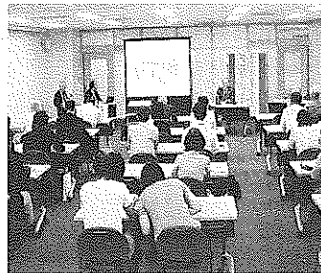
[] 内は参加延べ人数。

1. 地域社会発展への貢献活動

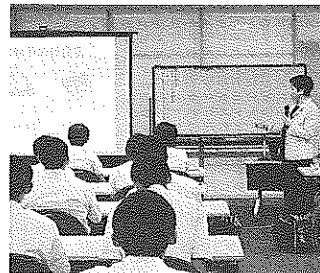
- ・大学：高校生英語110番
5月～7月毎週木曜日 講師：鈴木康雄教授 [50]
- ・大学：第1回 世界は今 中国訪問報告
7月7日(火) 講師：田中忠治学長 [34]
- ・大学：ビジネスマン・イブニングセミナー (インターネット)



「英語110番」



「第1回 世界は今」



「スポーツ栄養講習会」



「未就園児対象親子教室」

2. 富山国際学園並びに各機関の活動

- ・大学：谷口ゼミナール NPO 実習事前打合せ会
8月8日(土) [17]
- ・高校：PTA 研修会講演会 7月3日(金) [49]
- ・入試広報担当者研修会 8月7日(金) [15]
- ・サテライト・オフィス運営会議
4月以降原則第1金曜日 …等



「谷口ゼミナール」



「PTA研修会講演会」

3. 地域社会への総合的情報発信・収集活動

- ・大学短大進学説明会、願書頒布会 9月17日(木) 主催：さんぽう [22]
- ・掲示、資料配布、ホームページ公開 …等

Ⅳ 今後の予定

10月～12月の主な行事予定をご案内します。

- ・大学：英語110番
10月～11月 原則毎週木曜日 講師：鈴木康雄教授
- ・大学：絵画個展 第4回みやらくもん二人展
10月8日(木)～13日(火)
- ・大学：ビジネスマン・イブニングセミナー
10月～11月 原則毎週木曜日
- ・大学：第2回 世界は今 フランス訪問報告
10月27日(火) 講師：鈴木康雄教授

- ・大学：国際交流フェスティバル2009参加
11月7日(土)・8日(日)
- ・大学：国際教養学部サテライト市民講座
11月28日(土) 大西一成教授
- ・大学：入学前指導 12月19日(土)
- ・短大：海外旅行に使える基礎英語
10月24日(土) 講師：三上雅弘准教授
- ・高校：英語スピーチコンテスト 11月14日(土)
- ・高校：中学校対象説明会 12月5日(土)

※今後の行事日程については、サテライト・オフィスのホームページ(大学トップページ右のバナー)でご確認ください。

【問い合わせ先】 富山国際学園サテライト・オフィス
「地域交流センター」

〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3 Ciビル3階
TEL:076-482-3123 FAX:076-482-3122 E-Mail:sat-off@clear.ocn.ne.jp
URL:http://www.tuins.ac.jp/jm/kikaku/kouken/so/so_index.html

平成21年度部門別学生・生徒・園児数等

平成21年5月1日現在

部 門	学部・学科名等	収容定員 (A)	1年	2年	3年	4年	合 計 (B)	定員充足率 (B/A)	備 考
大 学	現代社会学部	240	120	129			249	103.7%	
	子ども育成学部	80	64				64	80.0%	
	国際教養学部	260		1	37	66	104	40.0%	
	地域学部	260		5	76	94	175	67.3%	
	小 計	840	184	135	113	160	592	70.4%	
短 大	食物栄養学科	160	92	84			176	110.0%	
	幼児教育学科	160	80	93			173	108.1%	
	経営情報学科	190	123	95			218	114.7%	
	福祉学科	150	61	57			118	78.6%	
	専攻科食物栄養専攻	30	18	13			31	103.3%	
	小 計	690	374	342			716	103.7%	
高 校	全日制普通科	700	268	173	205		646	92.2%	
幼稚園		84	3歳児 28	4歳児 25	5歳児 35		88	104.7%	
総 計		2,314	854	675	353	160	2,042	88.2%	

平成20年度卒業生進路状況

大 学

平成20年度卒業生（第16期生）の就職決定率は94.5%でした。業種別就職状況は卸・小売業が30.6%、サービス業が24.8%、製造業が23.4%と、上位3業種で78.8%となっており、富山県内企業に就職した卒業生は73.5%となっています。また、進学先として富山大学大学院（4名）等があります。

平成21年5月31日現在(単位:人)

学 部	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	決 定 率	進学者数
国 際 教 養 (人文社会含む)	61	54	52	96.3%	3
地 域	101	91	85	93.4%	10
合 計	162	145	137	94.5%	13

短 大

平成20年度就職状況は堅調といってよいでしょう。福祉、幼児教育、食物栄養学科の資格系3学科は相変わらず安定した求人に恵まれ好調でした。経営情報学科は前半極めて良く、後半未曾有の景気悪化に見舞われましたが、ほぼ昨年度並みの好結果になったと考えています。

四大への編入学等では富山大や埼玉県立大、本学専攻科等々充実した結果になりました。

平成21年5月31日現在(単位:人)

学 科	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	決 定 率	進学者数
食 物 栄 養	80	64	64	100.0%	13
幼 児 教 育	97	95	95	100.0%	1
経 営 情 報	120	110	106	96.4%	3
福 祉	83	73	73	100.0%	9
合 計	380	342	338	98.8%	26
専 攻 科 食物栄養専攻	12	12	12	100.0%	—

高 校

大学への進学者は41%、短大19%、専門学校26%、就職等14%です。併設校への進学は、進学者の28%にのびりました。併設校以外では、金沢、富山、富山県立などの国公立大学や、上智、青山、中央、法政、立命館、関学等の私学に進学し、就職者は、5年連続で決定率100%を達成しました。

平成21年5月31日現在(単位:人)

大 学	入学者	合格者	短期大学	入学者	合格者	そ の 他	入学者	合格者	卒業生
富山国際大学	16	17	富山短期大学	22	22	専修・各種学校	40	44	152
国 公 立 大 学	8	11	国公立短期大学	0	0	就 職	19		
他の私立大学	38	62	他の私立短期大学	6	6	そ の 他	4		
計	62	90	計	28	28	計	63	67	

※就職者には、就職進学者1名を含む

平成20年度 決算及び財務の状況

平成20年度決算は、去る5月26日開催の評議員会・理事会において承認されました。決算の概要は、消費収支計算書（一会計年度の消費収入と消費支出を明らかにして、その均衡状態を表すもの）において、消費収入の部で帰属収入合計が2,332百万円（対前年度比13百万円減・0.6%減）、消費支出の部で消費支出合計が2,533百万円（同51百万円増・2.1%増）、基本金組入額合計が603百万円（同253百万円増・72.3%増）で、消費支出超過額（いわゆる赤字）は804百万円となりました。この結果、平成19年度繰越消費支出超過額142百万円に、平成20年度消費支出超過額を加えた946百万円が平成21年度への繰越消費支出超過額（累積赤字）となりました。

収入の主なものは、学生生徒等納付金が大学、短大及び高校の在学者数の減により1,614百万円（対前年度比87百万円減・5.1%減）、手数料が大学子ども育成学部設置による志願者数の増などにより33百万円（同1百万円増・3.1%増）、補助金が大学現代社会学部に係る経常費補助金の増などにより498百万円（同62百万円増・14.2%増）となりました。

一方、支出の主なものは、人件費では退職金の増などにより1,662百万円（対前年度比17百万円増・1.0%増）、教育研究経費が大学及び短大の各種奨学金の増などにより723百万円（同28百万円増・4.0%増）、管理経費が大学の各種広告費の増などにより132百万円（同8百万円増・6.5%増）となりました。

昨年度に続き大幅な赤字決算となった最も大きな要因としては、大学子ども育成学部棟建設に伴う基本金組入額の増加によるものです。問題なのは、経常収入である学生生

徒等納付金が減少し続けること、つまり、学生生徒を安定的に確保できないことです。本学園においては、学生生徒等納付金は帰属収入の約70%を占める最も重要な収入源であり、これが減少し続けることは、すなわち、学園の本来の目的である教育活動に多大な影響を与えることになります。

一方で、人件費については、固定費の性格を有しており、収入の減に見合った削減は難しいため、本学園の人件費比率（帰属収入に占める人件費の割合）や人件費依存率（学生生徒等納付金に占める人件費の割合）は、依然として高い状態が続いています。この状態を解消するためには、人件費の抑制に努めることは当然ですが、学生生徒等納付金をはじめとする自己収入の安定的確保や補助金や各種競争的資金などの外部資金の積極的な確保にも努めなければなりません。また、教育研究経費及び管理経費ともに前年度より増額となっており、収入に見合った予算の効率的執行や節約にも十分に配慮する必要があります。

このように、平成20年度単年度で見ても、本学園の財務状況は非常に厳しく、過年度からの累積赤字を解消するためには、相当な覚悟と努力が必要となります。

資金収支計算書（一会計年度のすべての資金の収入と支出を明らかにし、資金の動きを表すもの）においては、平成20年度の収支状況を資金面の流れで見ると、収入額は平成21年度入学生の前受金や平成20年度末の未収入金等も含めて2,865百万円（対前年度比1,449百万円減・33.6%減）となり、前年度から繰り越した1,929百万円（同1,100百万円増・132.7%増）を加えると、収入合計は4,794百万円（同349百万円減・6.8%減）となりました。

消費収支計算書

平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで

(単位:百万円)

	20年度予算	20年度決算 ①	前年度決算 ②	差 異 ① ②	
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,632	1,614	1,701	△87
	手数料	35	33	32	1
	寄付金	2	8	8	0
	補助金	404	498	436	62
	資産運用	33	55	63	△8
	資産売却差額	1	0	0	0
	事業収入	19	20	12	8
	雑収入	88	104	93	11
	帰属収入合計	2,214	2,332	2,345	△13
	基本金組入額	△1,296	△603	△350	△253
消費収入の部合計	918	1,729	1,995	△266	
消費支出の部	人件費	1,678	1,662	1,645	17
	教育研究経費	782	723	695	28
	管理経費	144	132	124	8
	借入金等利息	7	7	8	△1
	資産処分差額	10	9	10	△1
	予備費	13			
	消費支出の部合計	2,634	2,533	2,482	51
	消費支出超過額	△1,716	△804	△487	△317
前年度繰越消費支出超過額	△142	△142	345	△487	
翌年度繰越消費支出超過額	△1,858	△946	△142	△804	

資金収支計算書

平成20年4月1日から
平成21年3月31日まで

(単位:百万円)

	20年度予算	20年度決算 ①	前年度決算 ②	差 異 ①-②	
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,632	1,614	1,701	△87
	手数料収入	35	33	32	1
	寄付金収入	2	2	3	△1
	補助金収入	404	498	436	62
	資産運用収入	33	55	63	△8
	資産売却収入	1	0	0	0
	事業収入	19	20	12	8
	雑収入	88	100	89	11
	借入金等収入	3	2	5	△3
	前受金収入	460	448	381	67
	その他の収入	396	569	2,107	△1,538
	資金収入調整勘定	△406	△476	△515	39
	当年度収入合計	2,667	2,865	4,314	△1,449
前年度繰越支払資金	1,929	1,929	829	1,100	
収入の部合計	4,596	4,794	5,143	△349	
支出の部	人件費支出	1,670	1,669	1,652	17
	教育研究経費支出	530	473	440	33
	管理経費支出	141	129	120	9
	借入金等利息支出	7	7	8	△1
	借入金等返済支出	30	30	29	1
	施設関係支出	1,043	1,023	321	702
	設備関係支出	198	198	55	143
	資産運用支出	183	466	532	△66
	その他の支出	125	125	177	△52
	予備費	10			
	資金支出調整勘定	△641	△702	△120	△582
	当年度支出合計	3,296	3,418	3,214	204
	次年度繰越支払資金	1,300	1,376	1,929	△553
	支出の部合計	4,596	4,794	5,143	△349

一方、支出額は人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出、借入金等返済支出、大学子ども育成学部に係る施設設備関係支出などで3,418百万円（同204百万円増・6.3%増）となり、差し引き1,376百万円（同553百万円減・28.7%減）が翌年度への繰越支払資金となりました。

貸借対照表（年度末における資産、負債、正味財産（基本金、消費収支差額など）の状態を表すもの）において、学園の財務状態を見ると、平成20年度末現在の資産総額は13,479百万円で、その内訳は有形固定資産（土地、建物、備品など）7,003百万円、その他の固定資産（特定資産、引当資産など）4,992百万円、流動資産（現金預金、未収入金など）1,484百万円となりました。

一方、負債総額は2,076百万円で、その内訳は固定負債（長期借入金、退職給与引当金）856百万円、流動負債（短期借入金、未払金、前受金など）1,220百万円となりました。

また、基本金は12,350百万円で、その内訳は第1号基本金（設立当初に取得した固定資産並びにその後新たに取得した固定資産の自己資金による支払済額）が11,491百万円、第2号基本金（将来取得する固定資産の取得に充てる金銭等の資産額）が650百万円、第3号基本金（基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭等の資産額（奨学基金など））が13百万円、第4号基本金（恒常的に保持すべき資金額（資金的な消費支出の1カ月分に相当する運転資金））が196百万円となりました。

これにより、翌年度繰越消費支出超過額は947百万円となりました。

学校別収支の状況を見ると、大学は慢性的に大幅な支出超過の状態が続いており、結果として学園全体の財務状態を圧迫し、財務状況は年々厳しくなり悪化傾向にあります。大学においては、現在、改組再編計画を実施中ですが、計

画を確実に実行し、赤字体質からの脱却を図ることが急務となっています。

また、短大及び高校においては、開学50周年を間近に控え、経年による校舎老朽化対策が急務であり、計画的整備やその資金確保にも積極的に取り組まなければなりません。

今、私学を取り巻く社会環境は、少子高齢化の進行や大学全入時代を迎え、学校間競争が激化するなど、ますます厳しさを増しています。地域社会に役立つ人材育成を目指す本学園は、どのような社会環境に置かれようとも「地域に根ざした総合学園」として、使命を果たさなければなりません。

貸借対照表

平成21年3月31日

（単位：百万円）

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	11,995	11,039	956
有形固定資産	7,003	6,033	970
その他の固定資産	4,992	5,006	△14
流動資産	1,484	2,028	△544
資産の部合計	13,479	13,067	412
負債の部			
固定負債	856	890	△34
流動負債	1,220	573	647
負債の部合計	2,076	1,463	613
基本金の部			
基本金の部合計	12,350	11,747	603
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△947	△142	△805
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	13,479	13,068	411

消費収支計算書内訳表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：千円）

	学園本部	大 学	短 大	高 校	幼稚園	総 額		学園本部	大 学	短 大	高 校	幼稚園	総 額
消費収入の部							消費支出の部						
学生生徒等納付金	0	588,345	750,386	249,339	26,094	1,614,164	人件費	24,651	640,773	617,400	342,667	36,439	1,661,930
授業料	0	321,623	370,780	118,308	19,805	830,516	教員人件費	35	445,719	405,800	312,482	36,429	1,200,465
入学金	0	44,650	91,687	32,880	930	170,147	職員人件費	23,072	169,789	153,752	28,817	10	375,440
実験実習料	0	18,372	50,639	0	0	69,011	役員報酬	750	0	0	0	0	750
施設設備資金	0	145,500	163,130	52,381	1,748	362,759	退職金	0	25,265	57,848	1,368	0	84,481
その他の納付金	0	58,200	74,150	45,770	3,611	181,731	退職給与引当金繰入額	794	0	0	0	0	794
手数料	2,760	7,802	16,679	5,957	31	33,229	教育研究経費	2,219	327,299	230,247	146,334	17,014	723,113
寄付金	0	3,601	1,164	2,716	736	8,217	管理経費	33,789	48,523	38,499	10,396	584	131,791
補助金	500	131,850	146,028	202,014	17,177	497,569	借入金等利息	0	3,787	1,071	2,200	0	7,058
資産運用	49,743	1,228	3,901	192	0	55,064	資産処分差額	0	89	4,998	4,503	0	9,590
事業収入	0	7,041	100	7,374	5,583	20,098	消費支出の部合計	60,659	1,020,471	892,215	506,100	54,037	2,533,482
雑収入	1,162	31,822	69,357	1,846	2	104,189	当年度消費収入支出超過額	△404,517	△280,422	△117,070	3,278	△5,113	△803,844
帰属収入合計	54,185	771,689	987,615	469,438	49,623	2,332,530	前年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△142,721
基本金組入額	△398,023	△31,640	△212,470	39,940	△699	△602,892	翌年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△946,565
第1号基本金	△397,925	△31,640	△162,470	39,940	△699	△552,794							
第2号基本金	0	0	△50,000	0	0	△50,000							
第3号基本金	△98	0	0	0	0	△98							
消費収入の部合計	△343,858	740,049	775,145	509,378	48,924	1,729,638							

富山国際大学

学生支援推進プログラム「学生・大学・地域社会の協働による地域貢献型社会人基礎力育成」採択

昨秋来の厳しい経済状況下で、これまでの就職率を維持するには企業をはじめとする地域社会との連携を一層深めることが重要です。そこで、本学では平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」に標記のプログラムで応募し、採択されました。

プログラムは3ヵ年計画で実施します。初年度はキャリア支援センター内に地域づくりチームを設置し、このチームを中心に学生の個性を生かしたキャリア形成を支援します。具体的には①入学から卒業までの個人情報を一元化し、地域企業等が求める人材とのマッチングの効率化、②地域づくりコーディネーターを中心とした地域と学生との交流支援、③正課授業とキャリア関連授業の連携による社会人基礎力育成等の推進です。これらの支援は自立心と意欲ある人材の育成を目指します。

富山短期大学

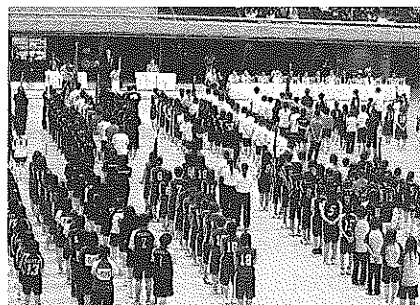
第44回全国私立短期大学体育大会出場

8月3日(月)～6日(木)の期間、東京都近辺を主会場として、連日熱戦が繰り広げられました。本学からはテニス部、男女バドミントン部、男女バスケットボール部、男女卓球部の総勢41名が参加しました。

東京都体育館での主将会議の後、高円宮妃殿下ご臨席のもと開会式が行われ、大型スクリーンに映し出される入場行進の映像を見ながら、選手たちは元気はつらつと入場行進をしました。

試合では、テニス団体とテニス個人ダブルスが3位入賞の快挙、女子バドミントン個人ダブルスはベスト8進出と日頃の練習成果をいかに発揮しました。

また、全国から参加した他大学との交流では、親睦も深めることができました。



富山国際大学附属高等学校

サッカー部プリンスリーグに昇格 長期留学生、元気に帰国・出発

サッカー部は、本年度、U-18 富山県サッカーリーグ2009T-1リーグで、4月から8月までの8試合の結果優勝し、来年度、北信越プリンスリーグに昇格することが決定しました。念願の昇格決定で、今後の活動への弾みがつき、さらなる活躍が期待されています。

国際英語コースでは、1年間の長期留学を経て、8名の生徒が帰国しました。皆、広い視野と確かな英語力を身に付け、大きく成長を遂げました。7月、8月には、2年生10人が、アメリカ、カナダ等へ元気に出発しました。1年後を期待したいものです。名実ともに「英語の国際高」が定着し、文武両道の国際生活が充実し、はつらつと笑顔輝く高校生活を展開しています。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

お父さん 大活躍

9月5日(土)に毎年恒例となった父親の会主催の「遊び大会」が呉羽青少年自然の家で開催されました。企画運営は全てお父さん達の手によって行われ、7月から何度もお父さん達が顔を合わせて準備をしてきました。当日は、ザリガニ釣り、イカダ遊び、ターザンロープで池に飛び込んだりしました。またクイズ大会をしたあとにカレーライスを作り、みんなでおいしくいただきました。

夜は、キャンプファイヤーを囲んで、お父さんの演奏する音楽を聞いたり、お父さん15名による「戦隊ショー」が演じられました。子どもたちはもちろん、参加した家族全員の笑いと大きな拍手が絶えませんでした。

みどり野幼稚園では、園と保護者が密接に連携を取り合いながら保育に取り組んでいます。父親の積極的な子育てへの参加は、子どもたちの健やかな成長発達に大きく役だってくれることでしょう。

